

昭和大学在宅チーム医療教育推進プロジェクト ワークショップのご案内

事例から学ぶ在宅チーム医療 ～患者に寄り添う在宅医療と 学生指導のために～



主催：昭和大学薬学部・文部科学省
「課題解決型高度医療人材養成プログラム」
＜平成26年度～平成30年度＞

「昭和大学在宅チーム医療教育推進プロジェクト」のご紹介

昭和大学では平成26年度より文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」において、大学と地域で育てるホームファーマシスト・在宅チーム医療教育推進プロジェクトが採択されました。これは在宅チーム医療で活躍する医療人の養成を目的としています。患者や家族の思いを受容し支える力を持ち、多職種で連携・協働して問題発見・解決能力を有し、在宅医療を実践できる医療人の育成を目指しています。

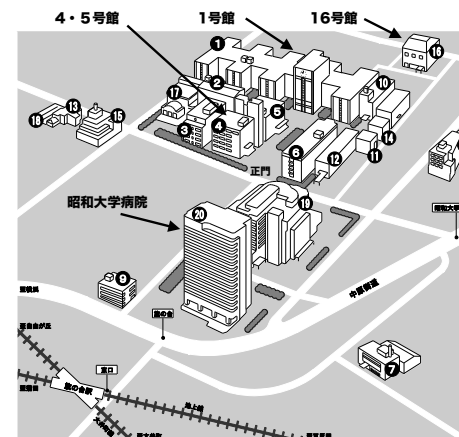
本プログラムの特色

事例から学ぶ在宅チーム医療 ～患者に寄り添う在宅医療と学生指導のために～

在宅チーム医療に貢献するために、必要な研修プログラムです。年間を通して参加して頂くことで、在宅チーム医療に必要なスキルアップにつながります。在宅現場の事例シナリオを用いて Problem Based Learning (PBL) 形式で、多職種による検討を行います。地域の医療・福祉に関わる専門職の相互理解にも役立つ内容です。必要なスキルは講義でも解説します。また、近年では医療系学生が現場で実習をする場面が多々あります。学生指導のスキルアップを目指します。

会場

昭和大学旗の台キャンパス
(東京都品川区旗の台1-5-8)
東急大井町線・池上線旗の台駅下車徒歩7分



ご案内

- ・各セミナーは医療従事者ならびに介護従事者の方はどなたでもご参加いただけます。第3回のEBMの活用は医療従事者のみの参加となります。
- ・参加費は無料です。
- ・各セミナーは事前申込制ですので、参加をご希望の方はホームページより申込をお願い致します。尚、申込多数の場合は抽選となる場合があります。

プログラムの詳細・事前申込

<http://www.homepharmacist.jp>

ホームファーマシスト 検索

第 1 回

講義

スモールグループ
ディスカッション**6月26日(日) 9:00 - 13:00**

会場：1号館7階講堂

事例から学ぶ在宅医療 ①**- 高齢者の摂食嚥下と機能回復 -**

在宅チーム医療に参画するにあたり、多職種による連携をどの様に考え、実践していきますか？また、実習生にどのような指導をしますか？

初回は、摂食嚥下機能が低下した患者さんの事例を討議して頂きます。昭和大学歯学部弘中祥司先生の高齢者の摂食嚥下と機能回復についての講義も受けながら、事例から在宅医療を学んでみませんか？

第 2 回

講義

スモールグループ
ディスカッション**7月30日(土) 15:00 - 18:00**

会場：4号館500号講義室

患者に寄り添うためのNBM

Narrative Based Medicine (NBM)とは患者さんの物語りを聴き、対話することが治療的役割を担うことにつながるという考えです。患者や家族の思いを受容するためのコミュニケーションスキルを実習生にどのような指導をしますか？

本講座は、ナラティブに必要な傾聴と共感、対人関係のポイントなど、臨床心理士の高山恵子先生を講師に迎えて、グループワークを行いながら楽しく臨床心理学を学びます。

第 3 回

講義

スモールグループ
ディスカッション**9月25日(日) 9:30 - 16:30**

会場：1号館5階会議室

在宅医療におけるEBMの活用**- 情報検索と文献の批判的吟味を学び、在宅患者へのEBMの提供を身に付ける -**

チーム医療の担い手として在宅患者さんへの最善の治療ケアの検討と提案のプロセスを実習生にどのような指導をしますか？

本講座は、在宅医療の現場で、多職種が協働して質の高い医療を提供するためにどのように Evidence Based Medicine (EBM) を実践していくか、そのプロセスを情報検索、グループ討議、ロールプレイを通して学ぶ実践的な参加型研修プログラムです。

第 4 回

講義

実習

10月23日(日) 13:00 - 17:00

会場：4号館500号講義室

障害を有する患者への服薬支援**- 運動障害・嚥下障害 -**

自分の病気を受け入れ、主治医を信頼し、薬を理解して治療に参加しようとしても、指示通りに服薬できない患者さんがいます。運動障害があって薬がうまく扱えない、嚥下障害で飲み込めない、薬がうまく経管投与できないなどの患者さんです。このような患者さんへの服薬支援を、実習生にどのような指導をしますか？

本講座は、このような患者さんが自分で服薬できるようになるための工夫を解説し、簡易懸濁法に関しては、その適否を判断するための製剤学的知識に加え、実技実習を行います。

第 5 回

講義

実習

12月10日(土) 15:00 - 19:00

会場：16号館3階講義室

在宅医療におけるフィジカルアセスメント**- ロールプレイで学ぶ在宅患者の状態把握と情報共有 -**

実習生と一緒に在宅患者宅を訪問した際、在宅患者の状態を把握するための情報収集について、どのような指導をされていますか…？

本講座は、在宅医療の現場で患者の状態把握と薬効評価や副作用モニタリングをより客観的に評価するために、必要なフィジカルアセスメントの理念の理解、実技の修得、そして臨床での応用を目的とした参加型研修プログラムです。

第 6 回スモールグループ
ディスカッション**2017年 2月12日(日) 13:00 - 18:00**

会場：4号館500号講義室

事例から学ぶ在宅医療 ②

最終回は、事例から在宅医療を学ぶスモールグループディスカッションの2回目です。これまでの5回の研修で学んだNBMやEBM、簡易懸濁法やフィジカルアセスメントの知識や技能を活かしながら、第1回よりもやや難しい事例に多職種でチャレンジしましょう。